ニュースリリース

2026 年 9 月 28 日
株式会社タカショー

子会社タカショーデジテックの国内工場を再編

屋外照明・ドローン等の生産体制を強化し、グループ成長を加速

ガーデンライフスタイルメーカーである株式会社タカショー（本社：和歌山県海南市 代表取締役社長：高岡伸夫 東証スタンダード：7590）は屋外照明および LED サイン等の製造を手掛ける連結子会社の株式会社タカショーデジテック（代表取締役社長：古澤良祐、本社：和歌山県海南市）において、増産対応および生産効率の向上を目的とし、海南市内の国内工場体制を再編・強化することをお知らせいたします。

【タカショーデジテックが新設した新・第 2 工場（左）と屋外照明の製造ライン】

◆再編の主なポイント（拠点別）

新・第 2 工場（海南市阪井／2026 年 10 月 1 日稼働）

【屋外照明の生産・出荷を集約】タカショー所有の「第 2 商品センター」を一括賃貸し、新設。

【コスト削減・納期短縮】ポールライト用支柱のカット作業を内製化し、年間約 700 万円のコスト削減と納期短縮を実現。

【売上目標】新・第 2 工場での屋外照明ラインは現在の 1.7 倍に拡大し、年間 12 億円の売り上げ（2025 年に比べ倍増）を目指します。

本社・第 1 工場（海南市南赤坂）

【ドローン生産能力を倍増】株式会社ドローンショー・ジャパン向け専用機体「DSJ MODEL-X」の受託生産体制を強化し、年 1 万台（従来比倍増）の生産を可能に。

【新設備の導入・増産対応】スペースの再整備により、LED サインの大型物件対応や、美容デバイス等、ライトに限らない製造受託の新規受注や増産対応を容易にします。

第 3 工場（海南市幡川／旧第 2 工場）

【サブ工場・倉庫として活用】LED サインのサブ工場兼倉庫とし、将来の設備増設や作業場の拡張に備えます。

◆今後の見通し

今回の再編により、タカショーデジテック（2026 年 1 月期売上高：約 37 億円）の生産・物流効率を大幅に向上させ、将来的な売上高 100 億円達成へ向けた基盤を整えます。タカショーグループとしてシナジーを高め、更なる業績拡大に取り組んでまいります。

＜＜株式会社タカショー　会社概要＞＞

◆本社所在地：
〒642-0017 和歌山県海南市南赤坂 20-1

◆事業内容：
・環境エクステリア（インドア及びアウトドア庭園、緑化）に関する製品の企画開発
・ガーデン用品の輸出入販売
・エクステリア商品のソフトウェア開発販売
・CAD、CG ソフトウェアの提供及び処理業務

◆ビジョン：やすらぎのある庭空間を通じて、幸せな暮らしを創ります。

◆ホームページ：https://takasho.co.jp/

＜＜株式会社タカショーデジテック　会社概要＞＞

・設立＝2004 年（平成 16 年）11 月
・本社所在地＝和歌山県海南市南赤坂 20－1
・資本金＝5500 万円
・代表取締役社長＝古澤 良祐
・事業内容＝屋外照明、LED サイン、イルミネーション、デザインの各事業
・売上高＝37 億 6400 万円（2026 年 1 月期）
・URL＝　https://takasho-digitec.jp/

【リリースに関するお問い合わせ先】
株式会社タカショー
経営管理本部　粂（くめ）
電話：072-734-8505
FAX：072-734-8508
メールアドレス：press@takasho.co.jp